

令和 6 年度 指定管理者モニタリング年度評価表

施 設 名		徳島市立考古資料館
指 定 管 理 者 名		公益社団法人徳島市シルバー人材センター
評 価 期 間		令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日 （ 3 年目）
評価者	指定管理者	徳島市立考古資料館 館長
	教育委員会	社会教育課 管理係 主事

1 目標の達成度についての評価

別紙のとおり

2 仕様書等に定める管理運営水準についての評価

評 価 項 目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(1) 適正な管理運営			
管理運営 体制	人員の配置及び職員体制は適正か。	A	A
	職員の能力向上に向けた取組など人材育成は行われているか。	A	A
	労働基準法など関係法令に従って職員の労働管理は適正に行われているか。	A	A
利用料金	利用料金の管理及びその徴収、減免に係る手続き等は適正に行われているか。	A	A
情報管理	個人情報及び業務上知り得た機密事項を適正に管理する取組はできているか。	A	A
	著作権法等を遵守し、資料の無断転載の防止は徹底できているか。	A	A
危機管理	利用者の安全対策(事故防止等)及び危機管理は適切に行われているか。	A	A
環境配慮	省エネルギー等環境への配慮は十分になされているか。	A	A
指定管理者 の責務	法令・協定書等を遵守しているか。	A	A
	申請、届出など必要な手続きを、適切な時期に適正に行っているか。	A	A
(2) 事業計画の達成、サービスの水準			
運営業務	施設の設置目的、運営の基本方針に沿って適切に運営されているか。	A	A
	仕様書、事業計画の水準を満たした施設の運営が行われているか。	A	A
	提案事業・自主事業を計画どおり効果的に行っているか。	A	A
	考古資料館の施設・設備を有効に活用できているか。	A	A
	地域・関係機関・ボランティアなど外部団体との連携は推進されているか。	A	A
管理業務	施設・設備等の保守・検査を適正に行い、安全性・快適性を確保できているか。	A	A
	清掃・植栽管理等を適正に行い、衛生的で美しい環境を維持しているか。	A	A
	資料の良好な維持管理及び特別利用の承諾は適正にできているか。	A	A
	文書・備品等を適正に管理しているか。	A	A
利用者対応	利用者の意見を取り入れる取組や苦情等の対応は適切に行われているか。	A	A
	利用者に対する接遇及び相談業務は適切に行われているか。	A	A
利用促進	利用促進のための取組を十分に行っているか。	A	A
	ホームページ・パンフレットなど情報発信を積極的に行っているか。	A	A
(3) 収支等			
経理	仕様書等に沿って経理処理を適正に行っているか。	A	A
収支	収支の状況に不適切な点はないか。	A	A
経費節減	収入増加又は経費の抑制等が図られているか。	A	A

(4) その他			
今後の課題等	近年の高インフレ下の基、賃金を含めた固定費の上昇が資料館経営に影響を及ぼす事態となっており、比較的予算組の自由度が高い事業費が圧迫を受けつつある。事業運営の質を保つためにも更なる経費の節減に努めると共に状況によっては徳島市とも十分協議し対策をとる必要があると考えている。		
評 価 項 目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(5) 総合評価			
指定管理者	来館者数1万人弱と「サマーフェスティバル」「秋の文化財まつり」等大きなイベントを除くとコロナ禍以前の水準に復している。講座や学習会についてはおおむね好評を得ることができた一方、人件費や物価の高騰、トラック輸送の制度変更に伴い、特別企画展の開催では展示資料の梱包・輸送で苦慮する状況があったが、関係者の協力もあり開催にこぎつけることができた。		
教育委員会	全ての評価項目について、概ね仕様書等に沿った管理運営水準を達成することができた。人件費や物価・光熱費等の高騰が続く状況下ではあったが、適宜対応を行うことにより適切な管理運営を行うことができた。 令和7年度も、引き続き教育委員会及び関係各所と連携をとり適切な管理運営に努めるとともに、令和6年度の経験を踏まえた更なる取組みに期待したい。		
総合評価		A	A

【評価基準】

S:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。

A:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。

B:仕様書、事業計画の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C:仕様書、事業計画の基準を遵守できていない又はその水準を下回る内容である。

令和6年度 徳島市立考古資料館指定管理における 目標の達成度についての評価

1 施設の概要

- (1) 施設名 徳島市立考古資料館
- (2) 所在地 徳島市国府町西矢野10番地の1
- (3) 設置目的 市民の教育、学術及び文化の創造と発展に寄与するため。
- (4) 開館年月日 平成10年11月24日
- (5) 延床面積 約803㎡

2 指定管理者の概要

- (1) 団体名 公益社団法人徳島市シルバー人材センター
- (2) 所在地 徳島市佐古四番町12番10号
- (3) 指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
- (4) 指定管理者が行う業務の内容
 - ① 考古資料館事業に関する業務
 - ② 考古資料館の研修室等の利用及び考古資料館資料の特別利用の承諾に関する業務
 - ③ 考古資料館の維持管理に関する業務
 - ④ その他教育委員会が必要と認める業務

3 評価結果

1 目標の達成度					
評価項目		目標値	単位	備考	実績・評価
基本目標(多くの人に利用される施設づくり)					
利用者にとって、より便利で快適な考古資料館とし、多くの人に利用される施設を目指します。					
参考指標	入館者数	9,600	人／年	毎月800人×12ヶ月、展示室利用者数を重視	9,952
	企画展示の満足度(平均)	80	%／年	アンケート結果による	91.9
	所見	「入館者数」については、目標を上回る成果を挙げることができた。各企画展やイベント等についても、概ね昨年度を超える参加者数であった。子どもの入館者数の減少が課題であったが、昨年度と比べると大幅に増加しており、様々な工夫が実績に結びついていることを評価したい。 「企画展示の満足度」についても、目標値を上回る実績を残すことができた。アンケート結果からも、概ね高い評価を得ることができていたことが伺えた。とりわけ冬季企画展については、親しみやすいタイトルであったことやメディア掲載が好調だったこと等により、新規層の獲得につながった。今後も広報等の工夫を継続し、幅広い層の人びとが来館する施設を目指してほしい。			S
個別目標①(市民が親しむ開放的な施設づくり)					
市民ニーズを的確に把握することにより、市民が求める事業を企画し、積極的に取り組むことで、考古資料館と市民をつなぎ、市民が親しむ開放的な施設を目指します。					
参考指標	「考古資料解説会」の参加人数	120	人／年	毎月10人×12ヶ月	190
	「とくしま好古楽倶楽部」参加者の満足度(平均)	80	%／年	アンケート結果による	93.9
	所見	『「考古資料解説会」の参加人数』については、目標を大きく上回る実績を残すことができた。年を重ねる毎に着実に参加人数が増えてきており、安定した事業運営ができていることを評価したい。 『「とくしま好古楽倶楽部」参加者の満足度』についても、目標値を大きく上回り、高い満足度を得ることができた。回によって参加者数のばらつきはあるものの、今後も年代・性別を問わず参加でき、考古学への興味を高めることができる事業の継続を期待したい。			S

個別目標②(青少年の学びの場として活用する施設づくり)					
郷土の文化財を次世代に継承し、幼少期よりその価値に対する理解を深めるとともに、青少年の豊かな感性の育成に資するために、学校に対する働きかけを強化するなどにより、青少年の学びの場として活用する施設を目指します。					
参考指標	体験学習等の理解度	80	%／年	学校単位(小・中・高校)、アンケート結果による	90.5
	「夏休み自由研究「本気の弥生土器づくり」」参加者の理解度	80	%／年	アンケート結果による	100
	所見	それぞれの評価項目において、高い実績を残すことができた。アンケート結果では理解度も含め、内容についてもそれぞれ高い評価を得ることができていた。			S
個別目標③(事業成果を市民に還元する施設づくり)					
徳島市内に所在する様々な歴史・文化遺産の価値を市民に啓発し、市民が共有するために、市民ボランティアを活用したフィールドワーク等の実施を通じて、事業成果を市民に還元する仕組みを推進する施設を目指します。					
参考指標	出前授業の開催数	10	件／年	出前授業及び館外での学芸活動も含む	10
	考古資料館ボランティアの述べ参加者数	100	人／年	毎月8人以上×12ヶ月、活動内容を重視	85
	所見	「出前授業の開催数」については、目標値を達成することができた。 「考古資料館ボランティアの延べ参加者数」については、残念ながら目標値を達成することはできなかったが、適正な規模で安定した活動を行うことができ、ボランティアの活動の幅が着実に広がっていることを評価したい。			B
利用促進					
参考指標	広報活動①(メディア掲載数)	10	件／年	新聞・テレビ・雑誌等(ケーブルテレビ除く)	23
	広報活動②(チラシ・ポスター等作成数)	10	件／年	1事業につき1件(同一事業で何種類作成しても1件)	15
	ホームページ閲覧数	9,600	件／年	毎月800件×12ヶ月	11,654
	所見	「広報活動①」については、市政記者室への資料提供等を積極的に実施したことにより、目標の倍以上の成果を挙げることができた。 「広報活動②」については、目標値を上回る実績を残すことができた。作成したチラシを市内の小学校等に配布することで、一定の周知に繋がった。 「ホームページ閲覧数」についても、目標値を大きく超えて達成することができた。ホームページの更新についても、更新頻度が増え、常に新しい情報を載せることができていた。			S
2 仕様書等に定める管理運営水準の達成状況					
管理運営水準(適正な管理運営、事業計画の達成・サービスの水準、収支等)					
	所見	モニタリング(事業報告・連絡調整会議・実地調査等)を通じ、一部対応・改善すべき点が見られたが、概ね問題はなかった。			A
総合点数(100点満点)		85点		総合評価(S～C)	
				S	

【評価基準(1目標の達成度)】

- S:優れた事業や取組が見られ、目標を大きく上回る顕著な成果があった。
- A:仕様書、事業計画のとおり事業を実施し、目標を達成することができた。
- B:仕様書、事業計画のとおり実施したが、目標を達成することができなかった。
- C:仕様書、事業計画のとおり実施できず又は実施したが工夫が見られず、目標を達成できなかった。

【評価基準(2仕様書等に定める管理運営水準の達成状況)】

- S:仕様書等に定める管理運営水準を達成できており、問題は見当たらなかった。
- A:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項があった。
- B:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項が多数あった。
- C:仕様書等に定める管理運営水準について、重大な瑕疵があった。(または業務改善に関する通知書を受けた。)

【総合評価】

- S(80点以上):管理運営状況は著しく良好である。今後も継続して同様の取組を推進すること。
- A(70点以上):管理運営状況は概ね良好である。更なる発展のための取組を行うことが望ましい。
- B(60点以上):管理運営状況は水準並みと認められるが不十分な面もある。事業の総括等を行い、改善が必要である。
- C(60点未満):管理運営状況に問題が見られる。問題点を早急に整理し、事業の見直し等を行うこと。